

皇室関係の文書保管

春日町 歌道谷 江戸期の200点「宝物」

春日町船城地区自治協議会(藤田憲市会長)の文化教養部会のメンバー10人が19日、歌道谷地区(安達雅尚自治会長)を訪れ、数多くの区有文書や品物に触れ、研修した。同地区には、江戸時代を中心に約200点の文物が地域の宝物として大切に保管されており、毎年公民館で行われている虫干しに合わせ、研修会を計画した。(白井 学)

皇室や皇族との関係を示す文物が目立った。天神社の神職をつとめた文年間(1532-54)安達和泉守国貞が江戸時

代(後西天皇の代)に皇子の病氣平癒祈禱を行ったのがきっかけで、明治時代まで宮家の祈禱を行ってきた縁により、多くの文物が残っている。

参加者の注目を集めたのは、同神社で祈禱した御札、洗米、撫布などを入れている京都御所を往復した木製の「御撫物」。黒漆に菊の御紋入りの筒で、金具部分に華麗な彫金が

「これだけ豊富な資料が残っていることに感動した」と話した。文化教養部長の荻野敏久さん(57)は「同町新才」は「地域の人たちが大切受け継いでいることが良く分かった。製作中の船城歴史探案の冊子づくりにも生かしていきたい」という。安達自治会長は「地元だけでなく幅広く、地域の

記者ひとこと

皇室との関係を示す文物のほか地域の絵図、周辺地域との境界論争の資料など地域の歴史を探る興味深い資料が盛りだくさん。読み下しが付いたらもっと理解が深まるだろう。「虫干しの宝の山に目を凝らす」。

歴史を知っていたら、機会になった」と喜んでい



大切に保管されている文物を見る人たち
「春日町歌道谷公民館」で



黒漆に菊の御紋が入った「御撫物」